

令和3年12月27日

市政記者クラブ 様



経済局イノベーション推進部スタートアップ支援室
担当：山口、八木橋 電話：972-3046
(名古屋経済記者クラブ同時発表)

先進技術を用いた社会実証プロジェクトの実施について

名古屋市が社会実証を支援する「^{ハッチ テクノロジー ナゴヤ}Hatch Technology NAGOYA」課題提示型支援事業において、行政課題にかかる実証プロジェクトを下記の通り実施しますので、取材してくださるようお願いいたします。

記

1 実施する実証プロジェクト

区分	実証プロジェクト	実証事業者	市担当部署
行政課題	【実証により解決を図る課題名】 学校・おうちでできる新しい農業体験で dela ふぁーむをもっと知ってもらいたい！	株式会社 ウィーケン	緑政土木局 農業センター
	【実証プロジェクト名】 オンライン体験プラットフォームを活用した “おうちで農業体験”		

2 実証の概要

実証日時	令和4年1月10日（月・祝）10:00-11:00
実施場所	農業センター及び各家庭（農業センターからオンライン配信）
実証内容	「360度カメラで牛の目線を体感&牧場直伝のバター作り」のイベント内で以下2点を検証 ①先進技術を活用した農業体験イベントの提供 ②オンラインを活用したリアルな体験の提供

※その他、プロジェクトの詳細は別紙をご参照ください。

3 その他

取材してくださる場合は、誠にお手数ですが、令和4年1月7日（金）午後3時までにスタートアップ支援室（TEL:972-3046）へご一報ください。

【参 考】

「Hatch Technology NAGOYA」は、技術の研究開発や社会実装を促進し、先進技術を有する企業等の集積を図るため、様々な課題に対応する先進技術を活用した社会実証を名古屋市が支援する事業です。



「課題提示型支援事業」とは庁内から集めた行政課題や社会課題、コロナ課題に対して、先進技術を活用した解決策を企業等から広く募集し、選定した実証プロジェクトに対する費用の一部負担や、専門家によるマネジメント等の支援を実施するものです。現在、複数の実証プロジェクトが進行中ですので、他プロジェクトについても準備が整い次第、順次発表します。

学校・おうちでできる新しい農業体験で dela ふぁーむをもっと知ってもらいたい！

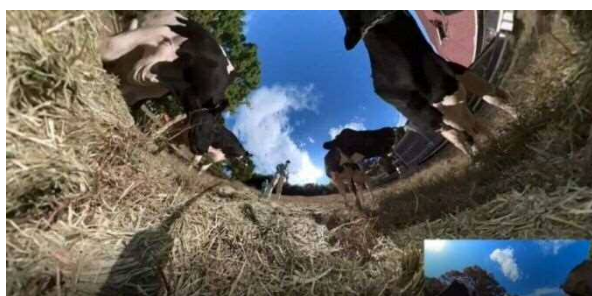
1 プロジェクトの概要

農業センターは、農業に親しむ機会の少なくなった市民に、農業に親しみながら、ゆったりと憩うことのできる施設として牛の放牧場や展示鶏舎、野菜の栽培温室や畑を備えています。しかしながら、昨今のコロナ禍において、イベントや施設の参加人数が制限されるなどの理由で、これまでのように十分な啓発活動が行えない状況にあります。

様々な制限がある状況においても、より多くの方に農業体験等に参加していただく機会を提供するため、これまでの方法に代わる啓発手段を検討・確立していくことが求められています。

そこで、今回の社会実証では、「360度カメラで牛の目線を体感&牧場直伝のバター作り」をテーマに、農業と先進技術を結び付けて新たな啓発の手段を確立するため、以下の内容を検証します。

- ・先進技術を活用した農業体験イベントを提供することができるか
- ・オンラインを活用したリアルな体験の機会を提供することができるか



360度カメラを使用して牛の視野を表現



オンラインを活用したリアルな体験のイメージ

2 実施者

- (1) 実証事業者 株式会社ウィーケン
- (2) 市担当部署 緑政土木局農業センター

3 スケジュール等

実証日時	令和4年1月10日(月・祝) 10:00-11:00
実施場所	農業センター及び各家庭(農業センターからオンライン配信)
実証内容	「360度カメラで牛の目線を体感&牧場直伝のバター作り」のイベント内で以下2点を検証 ①先進技術を活用した農業体験イベントの提供 ②オンラインを活用したリアルな体験の提供

4 問合せ先

- ・この実証プロジェクトについて
緑政土木局農業センター 寺田、山口 TEL: 052-801-5221
- ・「Hatch Technology NAGOYA」について
経済局イノベーション推進部スタートアップ支援室 山口、八木橋 TEL: 972-3046

【補足1】今回実証するイベントのコンテンツ

①360度カメラを使った牛の視野体験

牛の視野は330度と言われており、360度カメラ等で録画した映像を組み合わせたものを見ながら、牛の視野を体験。

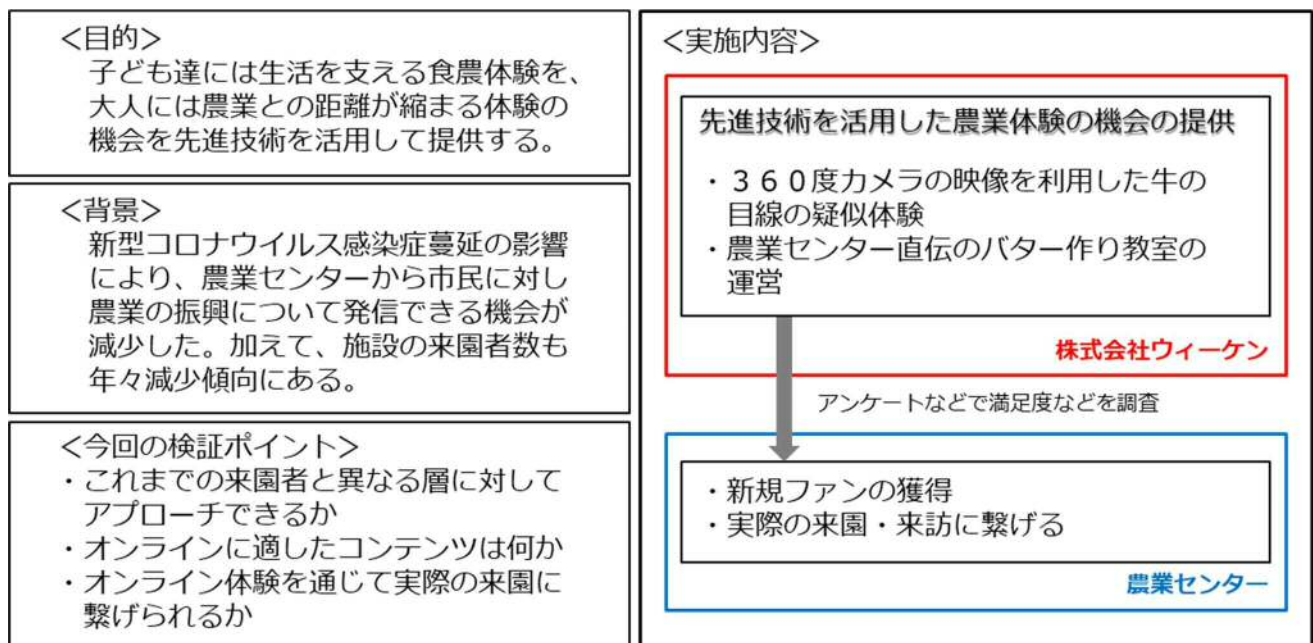


②バター作り体験

各自で材料を準備、農業センターの獣医師の指導の下で、参加者が画面越しに、バターを作成・味見。



【補足2】今回の社会実証のポイント



【補足3】実証事業者について

株式会社ウィーケン

代表取締役 佐々木 亜由子

URL : <https://www.weeek-end.com/>

- ・日本のオンライン体験教室のトップランナーである「ウィーケン」のプラットフォームを活用
- ・コロナ禍の1年半の間で200種類以上のオンラインコンテンツを制作
(モノづくりからアート、金融まで多種多様なジャンル)
- ・探究SDGsやグローバル、STEAMのオンラインスクールを毎月開催
(キャリア教育やサイエンス実験、職業体験など)

